

# 令和5年度事業報告

公益社団法人 港区シルバー人材センター

## I 令和5年度の状況

長期間私たちの生活や活動に影響を及ぼしていた新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和5年5月から感染症法における2類から5類へと移行しました。これにより、経済活動の通常化は一層進み、発注者からの新たな需要が昨年度から継続して見られました。また、会員活動においても特段の制限はなくなり、コロナへの不安が薄れるにつれ次第に参加人数も増加し、組織の活発化が図れました。

「ちいコミ」を始めとした地域班活動や、区内一斉清掃活動「シルバー感謝デー」等の社会貢献活動では、一人でも多くの会員が参加できるよう班役員や委員が主体的に工夫を凝らし、会員間の交流の場としても大きな役割を果たしました。

さて、令和5年度は第4次基本計画の初年度でした。本計画では、「いくつになっても、楽しく働くことのできる、居場所のある地域社会の実現」を基本理念とし、健康で働く意欲のあるシニアのために、その知識、経験及び希望に沿った就業機会を確保し、生きがいや社会参加がこれまで以上に推進されることを目指してまいりました。

この将来像を実現するため、「会員の増強」「就業の推進」「就業の質の向上」「安全就業の徹底」「会員活動の推進」「推進体制の強化」の6項目を重点項目として掲げ、会員の皆さまとともに理事会、委員会等を挙げて取り組んできました。

重点取組事項のひとつ「会員の増強」では、前年度比83人増（4.7%増）の1,860人となり、大幅に増加した昨年度をさらに上回る結果となりました。会員の口コミによる紹介活動「1+1（ワンプラスワン）運動」やSNS広告の新規掲出等の取組により、働きたいシニアが地域社会で活躍できる場所として認知度を高めることができました。

次に契約金額ですが、請負契約金額は前年度比1.1%増の679,115千円、シルバー派遣契約金額は前年度比8.4%増の145,104千円、合計金額は824,220千円、前年度比2.3%増となりました。請負・派遣を含めた全体の就業率は79.5%となり、前年度比6.5ポイント減少しましたが、新しい分野への就業開拓活動やシルバー派遣事業への積極的な営業等も効果を挙げ、契約金額は過去最高を更新しました。

## II 令和5年度事業計画の基本方針

第4次基本計画に基づき事業を実施しました。

事業計画は基本計画と連動し、4ヵ年計画の初年度として取り組みました。

### 1 センター全体運営の原則

- (1) 事業の理念である「自主・自立」「共働・共助」の浸透を図りました。
- (2) 事業運営を「透明性」「民主性」「公平性」の原則に従って実行しました。
- (3) 就業スローガンを「親切」「丁寧」「誠実」「着実」とし、「安全就業」の徹底を推進しました。

### 2 事業運営の重点事項

- (1) 第4次基本計画の着実な実施に努めました。
- (2) 会員目線に立ったセンター運営に取り組みました。
- (3) 広報活動・普及啓発活動の充実を通して、入会の機会を高めるとともに会員の増強を図りました。
- (4) 適正就業ガイドラインを遵守し、受託事業の適正化を図りました。
- (5) 多様な就業ニーズに応えるため、就業場所の開拓・創出に努め、会員の就業機会の増加につなげました。
- (6) 行政や地域の諸団体等と連携し、地域や時代のニーズに適応した事業の開発・実施に努めました。
- (7) 就業環境の整備や会員研修の充実等により就業の質の向上に努め、発注者の満足度を高めるよう努めました。
- (8) ボランティア活動を拡充し、地域社会に貢献できる組織として取り組みました。
- (9) 事故を未然に防止する対策を実施し事故の減少を目指すとともに、新型コロナウイルス感染防止対策を継続しました。
- (10) 効率の良い事業運営を行い、財政的に安定した経営を実施しました。
- (11) あらゆる取組において、デジタルを活用した業務の効率化に努めました。

### Ⅲ 令和5年度目標に対する結果

令和5年度の事業目標及び実績は以下のとおりです。

区分	目標	実績	達成率	結果	
(1) 会員数	1,785 人	1,860 人	104.2%	達成	
(2) 就業実人員	1,428 人	1,478 人	103.5%	達成	
(3) 就業率	80.0%	79.5%	△0.5P	未達	
(4) 契約金額					
内 訳	請負・委任契約	712,000 千円	679,115 千円	95.4%	未達
	シルバー派遣契約	134,000 千円	145,104 千円	108.3%	達成
	計	846,000 千円	824,220 千円	97.4%	未達

※就業実人員及び就業率は請負と派遣を合計したものです。

※数値は千円未満を切り捨てていますので、合計と合わない場合があります。

### Ⅳ 令和5年度の概況

#### 1 会 員 数

令和5年度末会員数は、1,860人となり男女別内訳は、男性859人、女性1,001人で、男女比は男性46.2%、女性53.8%でした。

今年度の入退会者数は、入会が246人(前年度230人)、退会が163人(同155人)でした。前年度末会員数の1,777人と比較すると、83人(前年度比約4.7%)の増加でした。

#### 2 請負契約における事業実績の特徴

##### (1) 契約金実績

令和5年度の年間契約金額は、令和4年度の実績671,452千円を7,663千円(1.1%)上回り、679,115千円となりました。

契約金額の事業別内訳は、公共事業が前年度に比べ5,061千円(1.9%)の増加で273,671千円、民間事業(独自事業含む)が前年度に比べ2,602千円(0.6%)の増加で405,444千円となりました。

##### (2) 契約件数及び就業延人員

令和5年度の契約件数は、前年度比13件(0.2%)減少の6,557件、就業延日人員は、前年度比1,667人日(1.2%)減少の133,927人日となりました。

契約件数及び就業延人員の対前年度比は、公共事業が契約件数で2.4%減少、延日人員で0.6%減少しました。民間事業(独自事業含む)は契約件数で0.3%増加、延日人員では1.6%減少となりました。

### (3) 職群別事業実績

令和5年度の職群別の契約金額では、管理群が322,423千円(47.5%)、続いて一般作業群が182,611千円(26.9%)、サービス群が96,801千円(14.3%)、技能群が32,558千円(4.8%)、事務整理群が26,502千円(3.9%)、技術群が17,374千円(2.6%)等となっています。

職群別事業実績では、管理群と一般作業群で全体の74.4%を占めました。

### (4) 公民事業比

契約金額における公民事業比については、令和4年度40.0:60.0に対して令和5年度40.3:59.7となり、0.3ポイント公共が増加となりました。

### (5) 年間就業実人員

令和5年度の年間就業実人員は1,379人で令和4年度の1,444人と比べ65人減少しました。

なお、シルバー派遣事業のみで就業する会員が99人おり、シルバー派遣事業を含めた就業実人員は1,478人となりました。

### (6) 年間就業率

令和5年度請負業務の年間就業率は、74.1%となり、前年度の81.3%から7.2ポイント減少しました。また、シルバー派遣事業を含めた年間就業率は79.5%となり、前年度の86.0%から6.5ポイント減少しました。

## 3 シルバー派遣事業

令和5年度のシルバー派遣事業は、前年度に比べ受注実績、受注件数、派遣就業延人員が増加しました。さらに派遣登録会員数は、84人増加の605人となりました。

受注件数は、前年度比6件(3.4%)増加、派遣就業実人員は21人(5.7%)減少、派遣就業延人員は、1,167人日(6.4%)増加となりました。

年間の派遣契約実績は、145,104千円で、前年度比11,208千円(8.4%)の増加となりました。

(令和5年4月～令和6年3月)

派遣労働登録会員数(人)		受注件数(件)		契約金額(円)			就業実人員(人)	就業延人員(人日)
男性	女性	公共	民間	公共	民間	合計		
240	365	2	183	3,941,901	141,162,794	145,104,695	350	19,441

※上記の就業実人員350人のうち、派遣事業のみの就業実人員は99人、請負・派遣両方の就業実人員は251人でした。

#### 4 センター活動率

令和4年度から就業及び就業以外の会員活動やボランティア活動に参加している会員を含めた割合を「活動率」と呼び、新たな指標として設定しました。センター活動率の基礎となる活動は、就業を始め、各種ボランティア、ちいコミ、センター主催イベント等の参加者となります。会員数1,860人に対して、活動に参加した会員が1,578人おり活動率は84.8%となり、多くの会員がセンター活動に参加していることが示されました。

## IV 事業実施報告

### 1 会員の増強

会員の増強に向けて、センターに関する認知度を高めるための取組を実施しました。SNSを活用した広報を新規に行い、会員の口コミによる紹介活動「1+1（ワンプラスワン）運動」と併せて会員の増強に努めました。特に10月は広報強調月間に位置づけ、地域イベント等に積極的に参加しながら、他団体と連携してセンター活動をPRしました。

この他、ホームページの全面リニューアルを行い、スマートフォンから見やすい画面構成に変更し、センターの魅力を発信しました。

また、入会者を増やす取り組みばかりでなく、就業は希望しないがセンター活動に参加することができるプラチナ会員制度の周知を積極的に行いました。

#### ① 効果的な情報発信（継続）

区 分	実施回数等	備 考
SNSを活用したPRの推進（新規）	年3回 6、10、1～3月	YouTube、Facebook、Instagramを通じた広告を掲載しました。
ホームページのリニューアル	3月	デザインや機能を全面的にリニューアルし、スマートフォンから発注依頼や入会予約が簡単にできるよう改善しました。
各種チラシ等の見直し	新聞折込チラシ 年6回5、6、7、 2、3月(2月2回)	駐輪場や登下校誘導業務等、職種を絞った効果的な会員募集や、QRコードを活用した動画案内を実施しました。
口コミによる情報発信「1+1（ワンプラスワン）運動」	随時	会員の口コミ紹介制度。49人の紹介による入会がありました。
機関紙等による啓発		
シルバーニュースの発行	年3回 5、9、1月 7,500部	会員や関係団体にセンターの事業活動を広く周知しました。
事務局だよりの発行	毎月1回 約23,000部	就業情報や会員にとって必要な情報を提供し、最新情報の共有化を図りました。

各種イベントでのPR活動	年4回 10月3回 11月1回	区民まつり、地域げんきフェア、フェスティバル〜ん、麻布地区いきいきプラザフェスティバルに参加し、PRを図りました。
--------------	-----------------------	---

② 工夫を凝らした新規入会の促進（拡充）

区 分	実施回数等	備 考
より参加しやすい入会説明会の開催	定例：24回 臨時：1回	会員自身が運営する入会説明会により、会員目線に立った親切丁寧な対応を行いました。
港区と連携した就業相談の実施	年9回	港区役所区民相談室で毎月第2月曜日に「高齢者の就業相談」を実施しました。
加入手続きにおけるICTの活用	3月	スマートフォン等から簡単に説明会の予約ができるよう申込方法を改善しました。
区民参加型の講習会の開催	随時	区民が参加可能なゆうあいカフェや健康教室等を実施し、認知度を高めるとともに入会案内を実施しました。

③ 退会抑制を図る取組の展開（継続）

区 分	実施回数等	備 考
プラチナ会員制度の推進	プラチナ会員数：66人	就業以外のセンター活動に参加できるプラチナ会員制度を推進しました。導入3年目となる5年度は30人が新規登録しました。
就業相談窓口の充実	随時	センター窓口で随時実施しました。

## 2 就業の推進

シルバー人材センターの基幹をなす請負・委任契約に加え、シルバー派遣の受注を着実に増やし、会員のニーズに対応した就業機会の確保に取り組みました。この他、就業創出員による営業活動、みなとふれあい館のさらなる活用、未就業会員に対する就業機会の提供、高齢化する会員の環境整備等を推進してきました。

また、受託業務の適正化に向けて、いきいきプラザ等の一部の受付管理業務において、令和6年度より請負契約から派遣契約に就業形態を移行するための準備を行いました。

自主事業については事業採算性を踏まえながら、会員の経験と知識を生かし、地域貢献を果たす事業に積極的に取り組みました。

### ① 就業創出員による深耕開拓（継続）

区 分	実施回数等	備 考
高齢会員向けの就業機会の開拓	随時	アンケートやモニター業務等、高齢会員に適した仕事の開拓に取り組みました。
会員ニーズの高い就業分野の開拓	随時	会員ニーズの高い事務補助の仕事の開拓に取り組みました。

### ② みなとふれあい館の活用（継続）

区 分	実施回数等	備 考
認知度アップを図る広報	新聞折込 年4回 6、9、12、3月	新聞折込チラシの他、ホームページをリニューアルし、講座の魅力を広め、よりわかりやすい情報発信に努めました。
さらなる講座の充実	随時	スマホパソコン講習は無料講座の充実を、カルチャー講座はゆうあいカフェで体験講座の開催等PRを図りました。
ふれあい館を利用した事業の検討	随時	選挙事務業務等の研修やモニター業務等の大規模就業の会場として稼働を高めました。



③ 未就業会員を就業に繋げる取組の充実（拡充）

区 分	実施回数等	備 考
より就業に結び付く就業相談会の実施	年4回 4、8、10、2月	仕事の情報をより分かりやすく伝える個別就業相談会を定期的に行いました。
多数の就業会員を必要とする業務へのマッチング強化	随時	多数の就業会員が必要な公園清掃や登下校誘導業務等について、仕事内容がわかりやすいYouTube動画を作成し、ホームページやチラシに掲載する等PRに努めました。また、就業相談会やちいコミで当該業務を積極的に紹介しました。
未就業会員が就業しやすい業務の開拓	随時	モニターやアンケート業務等、多くの会員が就業可能な単発で軽易な仕事の開拓に努めました。

④ 80歳を超えても活躍できる環境整備（新規）

区 分	実施回数等	備 考
高齢化を踏まえた居場所としての機能強化	随時	ちいコミやカフェ、シルバー感謝デー等、就業以外で交流できる居場所づくりを推進しました。
就業する際の体力面・健康面の確認方法の検討	3月	就業を継続する会員に対して、港区と連携して「健康チェックシート」を実施し、会員の健康面で注意喚起を図りました。

⑤ シルバー派遣事業の推進（継続）

区 分	実施回数等	備 考
シルバー派遣事業の推進	随時	派遣登録説明会の実施、研修の充実、衛生委員会による安全体制の強化等の体制整備を行いました。

⑥ 自転車リサイクルの体制整備（拡充）

区 分	実施回数等	備 考
自転車リサイクル事業の体制整備	随時	作業環境の整備や後継者の育成により生産台数の増加を図りました。

⑦ 家事援助や訪問型サービス事業の検討（継続）

区 分	実施回数等	備 考
就業会員増加のための広報	随時	就業相談会や入会面談を通じて興味ある会員へ仕事内容のPRを図りました。
家庭内清掃の技術向上のための研修	年1回 12月 参加者：25人	専門家に研修を依頼し、水回り掃除についての技能研修を実施しました。
訪問型サービス※ 研修の実施	年1回 12月 参加者：11人	窓の拭き方や、汚れの効果的な落とし方等の技能研修を実施しました。
訪問型サービス※ の拡充	随時	港区や高齢者相談センターと連携を図りながら、事業の推進に努めました。

※ 訪問型サービスとは、介護保険によるサービスを利用しようとする対象者のもとを看護師や介護士などが訪れ、多様なサービスを提供する形態の総称です。訪問型サービスの種別はAからDに分かれており、センターは港区から訪問型サービスB（住民主体による支援）を受託しています。

### 3 就業の質の向上

センターが事業を拡大するためには、就業の質の向上が欠かせないことから、継続的な顧客満足度調査を実施しながら、課題改善に取り組むとともに更なる会員の知識や技術の向上を図る研修を実施しました。

I Tスキル向上のための研修、筆耕や家事援助サービス等の技能研修、サービス業における基本の接客研修、就業環境向上のための研修（パワハラ、セクハラ等）他、会員が就業をするために必要とする研修に取り組みました。

また、デジタル社会に対応するため会員専用アプリ「Smile to Smile」の利用登録率を高め、会員のデジタルリテラシー向上を推進しました。

#### ① 顧客満足度調査の実施（継続）

区 分	実施回数等	備 考
会員の就業に対する発注者の満足度、利用状況の調査	毎月1回	センターを初めて利用する単発(1ヶ月以内に終了する注文)利用者へ満足度調査を実施し、評価をとりまとめ分析しました。
今後のサービス向上と就業内容の改善	随時	お客様から頂いた評価を分析し、問題が見られた点は現場にフィードバックし改善を図りました。

#### ② 会員研修の充実（拡充）

区 分	実施回数等	備 考
各種研修の実施		
初回就業後講習の充実	毎月1回 参加者:125人	新規就業会員に対し、事業趣旨や就業マナーを講習し、就業の質を高めました。
接客・個人情報保護研修	年1回 11月 延12回 参加者:97人	公共施設や利用者と接することの多い現場を中心に接客対応・個人情報保護の研修を実施しました。(対象業務:学校施設開放、運動場施設、区政資料室、区有施設駐車場、区民センター等)

	各種業務の技能研修等	随時	筆耕、植木剪定・除草、児童登下校誘導、選挙事務、PCインストラクター、襖張替、普通救命講習等、就業に対応した研修を実施しました。
	就業に役立つデジタル活用研修の検討・開発	年1回 6月 参加者：12人	スマホ活用講座「決済とセキュリティ」を実施しました。

③ パソコンスキルアップ研修の実施（継続）

区 分	実施回数等	備 考
パソコン操作基礎研修	年1回 1月 参加者：7人	請負業務を希望する会員のパソコンスキル向上のための研修を実施しました。
パソコン体験研修	年4回 5、9、2月(2月2回) 参加者：延37人	ワード・エクセルの初心者講習を実施しました。
派遣向けパソコン研修	説明会 11月 研修：12月 検定：1月 参加者：3人	派遣業務を希望する会員に、日本商工会議所主催の「データ活用Basic」受験の対策研修を実施しました。
	年1回 4月 参加者：47人	選挙事務業務の名簿対照業務に従事する会員向けにパソコン操作研修を実施しました。

## 4 安全就業の徹底

会員の安全就業を第一に考え、事故や危険を未然に防ぐために各種取組を実施しました。

コロナ後に就業機会が増加したことや会員の高齢化に伴い、年度を通じて転倒事故が多く見られました。発生した事故については分析調査を実施し、その結果に基づく対策や安全就業パトロール等を通じて把握した注意点を会員に周知しました。また、より多くの会員等が参加できる健康・安全講習や就業体力測定を実施し、会員自身が意識をもって安全就業に取り組める環境づくりを推進しました。

さらに、猛暑による熱中症の危険も年々高まっているため、新たな対策の検討に着手しました。

### ① 安全就業のさらなる推進（継続）

区 分	実施回数等	備 考
事故分析調査の実施	事故発生後 都度実施	会員の就業に伴う事故を未然に防止するため、事故の原因を分析し、再発防止策を事務局だより等で周知しました。
健康・安全講習事業の充実		
交通安全講習	年2回 7、12月 参加者：延57人	麻布警察署の協力で、高齢者向けの自転車交通安全DVD講習と実技講習を行いました。
区民のための健康教室	年1回 2月 参加者：55人 (内区民11人)	専門講師を招いて、会員及び一般区民高齢者のために、脳と痛みの関係をテーマに実施しました。
転倒予防講習会	年1回 11月 参加者：27人	多発している転倒事故を防止するため、介護予防総合センターの協力を受け、転倒予防講習を開催しました。
車両運転業務の事故防止対策	4、5月	運転する会員に年齢制限を設けるとともに、全員が自動車教習所で高齢者講習を受け、適正確認を行いました。

安全就業パトロールの強化	年1回 6月	東京しごと財団の安全就業パトロール指導員による対象現場 2ヶ所の巡回と、センターの安全就業対策事業の調査に対応しました。
効果的な啓発方法の検討	随時	事故ゼロを目指し、会員からヒヤリハットや安全標語を募集する等、会員が主体的に啓発を行いました。

② 就業体力測定の実施（継続）

区 分	実施回数等	備 考
就業体力測定の実施	年1回 9月 参加者：22人	会員が自身の体力や健康に興味を持ち、安全に就業できるよう、専門機関に依頼して体力測定と健康講座を実施しました。

③ 猛暑への取組（新規）

区 分	実施回数等	備 考
猛暑への取組	随時	屋外で働く会員への熱中症予防対策を強化しつつ、今後の対応策を検討しました。

【事故件数】

令和5年度は、傷害事故 14 件、賠償事故 6 件、合計 20 件となり、令和4年度に比べ1件増加しました。

内 訳	傷 害				賠 責	合 計
	傷害計	活動中	往路	復路		
件 数	14(19)	9(9)	3(4)	2(6)	6(0)	20(19)

傷害内訳	件 数
転倒	11 (16)
その他事故等	3(3)
計	14(19)

傷害年代	60代	70代	80代	計
男性	0(2)	5(6)	3(1)	8(9)
女性	1(1)	4(6)	1(3)	6(10)
計	1(3)	9(12)	4(4)	14(19)

( ) は前年度件数・人数

## 5 会員活動の推進

就業や就業以外において活動をより充実したものにするために、組織的に会員間の交流を推進する取組を図りました。会員が主体的に情報交換や円滑なコミュニケーションが取れるよう、地域班や職群班・仕事別グループの活動機会を高めました。

また、公益法人として地域に貢献できる各種ボランティア活動を推進し、就業は希望しないがセンター活動に参加したいプラチナ会員に対しても、活動できる機会を設け参加を促しました。

### ① 魅力ある地域班活動の展開（継続）

区 分	実施回数等	備 考
魅力ある地域班活動の展開		
ちいコミ (地域班会議)	17 班、各年 2 回、参加者：延 892 人	4 年ぶりに全ての班で実施し、参加者数はコロナ前と同等程度まで戻りました。
地域班長会議	年 2 回 5、2 月	センター運営や地域班活動に関する意見交換や情報共有を行いました。
地域班連絡会	年 1 回 2 月	班長・副班長を対象に班運営の課題について地区別に意見交換を行いました。
職群班・仕事別グループの展開		
仕事別グループリーダー会議	年 2 回 6、12 月	仕事別グループのリーダーに対し、適正就業や安全就業の注意喚起を行いました。また、接遇・個人情報取扱やBCP(事業継続計画)等の周知を実施しました。
各種業務の打ち合わせ、全体会議	随時	情報共有を図りグループを円滑に運営するための会議を行いました。

② 社会貢献活動への会員参加の推進（継続）

区 分	実施回数等	備 考
社会貢献活動への会員参加の推進	随時	<p>【清掃活動】</p> <p>シルバー感謝デー みなと区民まつり</p> <p>【福祉支援活動】</p> <p>リサイクル自転車売上からの寄付 使用済み切手の寄付 未使用タオルの寄付</p> <p>【地域貢献活動】</p> <p>コーラスボランティア 街・道案内ボランティア 花壇ボランティア</p> <p>【他団体とのコラボ】</p> <p>港区アドプトプログラム 六本木安心安全プロジェクト MINATO シティハーフマラソン 東京マラソン祭り</p> <p>【交流サロン】 ゆうあいカフェ</p>

③ センター活動率の設定と会員活動の推進（継続）

区 分	実施回数等	備 考
センター活動率の設定と活用	随時	就業及び就業以外のセンター活動に参加した割合を「活動率」と定め、未就業会員及びプラチナ会員の活動を支援しました。

④ 会員ポイント制度の検討（新規）

区 分	実施回数等	備 考
センターへの参画意識の向上	随時	楽しみながらセンター活動を実施できるように会員ポイント制度を検討しました。

⑤ サークル活動の支援（新規）

区 分	実施回数等	備 考
就業以外の会員交流の促進	随時	趣味等を通じた会員交流の在り方や会員互助会について検討を図りました。



## 6 推進体制の強化

センターでは、公益社団法人として法令遵守、適切な会計処理等を推進する事務局体制の強化を図るとともに、災害等にも対応できる危機管理体制づくりに取り組んできました。この他、財政的に安定した経営に努め、インボイス制度の財源確保を行ってきました。

また、デジタル社会の到来を踏まえ、センターのあらゆる取り組みにおいて、デジタルを活用した業務の効率化に取り組みました。

### (1) 推進体制の強化

区 分	実施回数等	備 考
消費税におけるインボイス制度への対応 (継続)	随時	令和5年10月から実施された消費税のインボイス制度(適格請求書保存方式)導入に伴い、適切な会計処理等を実施しました。
デジタル活用への取組(新規)	随時	Smile To Smileの活用や、安全標語の申し込み、アンケート調査、事務局運営等でデジタル化を進め業務の効率化を図りました。
事務局のBCP※ (事業継続計画)	年1回 6月	万一の災害や緊急時において、事務局機能が保たれるよう仕事別リーダー会議において啓発活動を実施しました。

※ BCP(事業継続計画)とは、企業が自然災害などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

### (2) 事務局体制の強化

#### ① 組織の強化・合理化

- ・事務局の組織規模や雇用体制を考慮して、組織の最適化を推進するとともに、会員の活用を図りました。
- ・職員の階層別役割の明確化をはかるとともに、法人運営に必要な研修を行う等事務局体制を強化しました。
- ・会員目線に立ち、会員に信頼される事務局運営に取り組みました。

## ② 事務事業の合理化

- ・事業の定期的な見直しやデジタル活用等を取り入れ、業務効率化を通じて会員サービスや発注者へのサービス向上に努めました。
- ・事務処理の簡素効率化、課題に対する特命担当化等により事務の合理化を推進しました。
- ・感染症等により事務局事業が中断しないよう、環境の構築及び体制の整備を行いました。

## (3) 財源の確保と安定経営

### ① 財源の確保

- ・配分金の支払が円滑に行えるように、未収金の早期回収に取り組みました。
- ・随意契約の方法でシルバー人材センターに仕事を発注することが可能な状況を踏まえて、政策目的随意契約の活用を東京都シルバー人材センター連合とともに港区に働きかけを行いました。

### ② 安定経営の推進

- ・経営基盤強化のため経費節減に努め、事業の優先度に応じて有効に資金を充当しました。

### ③ 財政計画

- ・事業運営資金は、経常費用のおよそ1ヵ月分を保ちました。
- ・経常増減額は、収支相償の原則に則った事業運営に努めました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大による影響を注視しながら、事業計画を慎重かつ柔軟に実施しました。
- ・安定した財政運営を踏まえ、令和5年度からは港区による貸付金を終了しました。

# 令和5年度職群別公共民間別事業実績（請負契約）

公益社団法人 港区シルバークリニクスセンター

## 1. 職群別事業実績

職群別区分	契約件数		就業延人員		契 約				金 額			
	件	比率	人日	比率	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計	比 率	事 務 費	計	比 率
1. 技術群	283	4.3%	2,662	2.0%	14,631,615	144,996	2,598,298	17,374,909	2.6%	0	17,374,909	2.6%
2. 技能群	1,015	15.5%	5,713	4.3%	25,602,181	4,415,044	2,541,678	32,558,903	4.5%	0	32,558,903	4.8%
3. 事務整理群	352	5.4%	4,222	3.2%	22,873,713	648,066	2,981,104	26,502,883	4.0%	0	26,502,883	3.9%
4. 管理群	1,371	20.9%	54,616	40.8%	272,954,488	9,380,407	40,088,781	322,423,676	47.7%	0	322,423,676	47.5%
5. 折衝外交群	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0	0.0%
6. 一般作業群	1,687	25.7%	38,112	28.5%	149,396,931	13,423,202	19,791,784	182,611,917	26.1%	0	182,611,917	26.9%
7. サービス群	1,828	27.9%	28,499	21.3%	85,904,693	4,268,600	6,628,584	96,801,877	15.0%	0	96,801,877	14.3%
8. その他	21	0.3%	103	0.1%	759,370	0	82,280	841,650	0.1%	0	841,650	0.1%
合 計	6,557	100.0%	133,927	100.0%	572,122,991	32,280,315	74,712,509	679,115,815	100.0%	0	679,115,815	100.0%

## 2. 公共民間別事業実績

事業区分	受注件数		就業延人員		契 約				金 額			
	件	比率	人日	比率	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計	比 率	事 務 費	計	比 率
公 共 事 業	284	12.7%	51,860	38.7%	226,430,780	19,501,175	27,739,647	273,671,602	39.6%	0	273,671,602	40.3%
民 間 事 業	612	27.4%	70,042	52.3%	297,353,840	8,722,343	41,788,703	347,864,886	52.0%	0	347,864,886	51.2%
個人家庭	1,318	58.9%	8,544	6.4%	32,641,281	2,582,345	3,099,368	38,322,994	5.7%	0	38,322,994	5.6%
事 業 計	22	1.0%	3,481	2.6%	15,697,090	1,474,452	2,084,791	19,256,333	2.7%	0	19,256,333	2.8%
業 計	1,952	87.3%	82,067	61.3%	345,692,211	12,779,140	46,972,862	405,444,213	60.4%	0	405,444,213	59.7%
合 計	2,236	100.0%	133,927	100.0%	572,122,991	32,280,315	74,712,509	679,115,815	100.0%	0	679,115,815	100.0%

2の受注件数は、月を跨る契約であっても1件として算定した全国シルバークリニクス方式の数値である。

# 令和5年度事業実績前年度対比表(請負契約)

(公社) 港区シルバー人材センター

会員数 (人)	就業実人員 (人)	就業率 (%)	事業別 区分	事業別 詳細	契約件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額 (円)				契約金額 公民比 (%)
							配分	金材	約料	事務費	
全体 1,860 (104.7)	全体 1,379 (95.5)	全体 74.1% (-7.2P)	公	共	1,227 (97.6)	51,860 (99.4)	19,501,175 (123.0)	27,739,647 (90.0)	273,671,602 (101.9)	40.3% (0.3 P)	
1,777	1,444	81.3%			1,257	52,167	15,857,763	30,821,594	268,610,102		40.0%
			民	社	167 (120.1)	2,331 (116.8)	12,791,924 (118.3)	160,764 (123.2)	14,852,544 (118.3)	3.7%	
					139	1,996	10,814,985	130,530	12,557,660		3.1%
					2,621 (99.5)	67,711 (97.7)	284,561,916 (99.8)	8,561,579 (95.6)	39,888,847 (97.9)		333,012,342 (99.4)
			計 (企業等)	業	2,634	69,298	285,251,953	8,956,710	334,972,501	83.2%	
					2,788 (100.5)	70,042 (98.2)	297,353,840 (100.4)	8,722,343 (96.0)	41,788,703 (98.6)		347,864,886 (100.1)
男性 859 (101.3)	639 (92.7)	74.4% (-6.9P)	家	庭	2,374 (100.8)	8,544 (101.9)	32,641,281 (105.1)	2,582,345 (99.8)	38,322,994 (104.1)	9.5%	
848	689	81.3%			2,355	8,385	31,065,927	2,587,941	3,174,563		36,828,431
女性 1,001 (107.8)	740 (98.0)	73.9% (-7.4P)	独	自	168 (90.8)	3,481 (92.9)	15,697,090 (99.3)	1,474,452 (321.5)	19,256,333 (104.2)	4.7%	
929	755	81.3%			185	3,748	15,803,805	458,575	2,221,609		18,483,989
			小	計	5,330 (100.3)	82,067 (98.4)	345,692,211 (100.8)	12,779,140 (105.3)	405,444,213 (100.6)	100.0%	
					5,313	83,427	342,936,670	12,133,756	47,772,155		402,842,581
			合	計	6,557 (99.8)	133,927 (98.8)	572,122,991 (101.3)	32,280,315 (115.3)	679,115,815 (101.1)	100.0%	
					6,570	135,594	564,867,415	27,991,519	78,593,749		671,452,683

※ 上段(ゴシック)は令和5年度、下段は令和4年度の数值。カッコ内は、前年度を100とした場合の指数を表わします。

# 令和5年度事業実績前年度対比表（シルバー派遣事業）

（公社）港区シルバー人材センター

登録 会員数（人）	就業実人員 （人）	事業別		契約件数 （件）	就業延人員 （人日）	契約金額（円）			契約金額 公民比（%）	
		区分	詳細			会員貸金	手数料等	合計		構成比
全体 605 (116.1) 521	全体 350 (94.3) 371	公共		2 (200.0)	715 (59.8)	3,056,400 (59.1)	885,501 (59.6)	3,941,901 (59.2)	2.7%	2.70% (-2.3P)
		企業		183 (102.8)	18,726 (109.6)	110,055,234 (111.8)	31,107,560 (108.0)	141,162,794 (110.9)	97.3%	97.30% (2.3 P)
男性 240 (108.6) 221		個人		0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0.0%	0.0%
		民間		183 (102.8)	18,726 (109.6)	110,055,234 (111.8)	31,107,560 (108.0)	141,162,794 (110.9)	97.3%	97.3%
女性 365 (121.7) 300		計 (企業等)		178	17,078	98,448,557	28,790,266	127,238,823	95.0%	95.0%
		合計		185 (103.4)	19,441 (106.4)	113,111,634 (109.2)	31,993,061 (105.7)	145,104,695 (108.4)		100.00%
				179	18,274	103,621,157	30,274,802	133,895,959		100.00%

※ 上段（ゴシック）は令和5年度、下段は令和4年度の数値。 カッコ内は、前年度を100とした場合の指数を表わします。

# 年度別事業実績調 (請負+派遣)

(公社)港区シルバー人材センター

年度	就業延人員(人日)		契約件数				契約金額				指数 % 伸び率
	人数	指数 % 伸び率	公共 %	民間 %	合計 %	指数 % 伸び率	公共 %	民間 %	合計 %		
平成 28 年度	151,106	100	1,893	5,192	7,085	100	330,401,221	403,944,644	734,345,865	100	
			26.7%	73.3%	100%		45.0%	55.0%	100%		
平成 29 年度	152,270	100.8	1,388	5,844	7,232	102.1	249,397,291	496,112,153	745,509,444	101.5	
			19.2%	80.8%	100%		33.5%	66.5%	100%		
平成 30 年度	155,847	103.1	1,405	5,946	7,351	103.8	264,948,594	527,181,440	792,130,034	107.9	
			19.1%	80.9%	100%		33.4%	66.6%	100%		
令和 元 年度	150,431	99.6	1,410	5,653	7,063	99.7	269,180,737	507,157,217	776,337,954	105.7	
			20.0%	80.0%	100%		34.7%	65.3%	100%		
令和 2 年度	137,092	90.7	1,290	4,764	6,054	85.4	254,239,034	447,556,416	701,795,450	95.6	
			21.3%	78.7%	100%		36.2%	63.8%	100%		
令和 3 年度	150,473	99.6	1,257	5,358	6,615	93.4	283,648,446	490,140,143	773,788,589	105.4	
			19.0%	81.0%	100%		36.7%	63.3%	100%		
令和 4 年度	153,868	101.8	1,258	5,491	6,749	95.3	275,267,238	530,081,404	805,348,642	109.7	
			18.6%	81.4%	100%		34.2%	65.8%	100%		
令和 5 年度	153,368	101.5	1,229	5,513	6,742	95.2	277,613,503	546,607,007	824,220,510	112.2	
			18.2%	81.8%	100%		33.7%	66.3%	100%		

※指数は、平成28年度に対するもの。伸び率は、前年度に対するもの。